

4月4日：VN指数は最終的に下落 (VN-Index -0.25%)

- VN指数は本日、中小型株に買いが集まり上昇して取引をスタートした。
- しかし、前場のATOセッション終了後は売り圧力に押された。結局、ATOセッション内で付けた高値が本日の最高値となった。
- 後場には時折反発の動きが確認され、2回ほど前日比プラスの場面が見られた。ただ、継続した買いは集まらず、最終的には下落での大引けとなった。
- セクター別では、旅行・レジャーセクターが最も上昇していた。一方で、化学やメディアセクターは下落した。
- 110銘柄が上昇、379銘柄が下落、62銘柄が変わらずとなった。
- 流動性はやや低下。前日比13%減の23.8兆ドンとなった。

VN30指数は引き続き下落 (VN-30 -0.52%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、5銘柄が上昇、21銘柄が下落、4銘柄が変わらずとなった。
- 引き続きGVR (-3.36%)が大きく売られ、その他にもTCB (-1.71%)やMBB (-1.65%)、ACB (-1.61%)なども下落した。
- VCB (+2.35%)、VNM (+2.25%)、MWG (+1.00%)、SAB (+0.89%)、VIC (+0.21%)のみが上昇した。

セクター・個別株の動き

- SAB (+0.89%)は、2024年度年次株主総会資料を発表。売上高は34兆3970億ドン(前年比+13%)、税引後純利益は4兆5800億ドン(同+8%)を計画した。配当性向は35%を維持する。
- NVL (+1.74%)は同社社債に関し、計3億ドル相当を保有する25社との間で、転換社債型債権(金利5.25%、2026年期限)を同社普通株式に転換する提案が合意されたことを発表した。

- 外国人投資家は 4830 億ドルの買い越し。18 営業日ぶりの買い越しとなった。VNM (+2.25%)、MWG (+1.00%) が多く買い越された一方、HPG (-1.17%) や VHM (-0.23%) が売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。